

三拾俵貳人扶持

筒井紀伊守同心

永島金十郎跡

内御足高拾五俵  
御足扶持半扶持

貳拾俵貳人扶持

同人組同心

實子總領  
金右衛門

右金十郎元來御切米御扶持方實子金右衛門被下、尤父取來御足高御足扶持茂勤候内被下之、

但金右衛門取來御切米御扶持方ハ上ル

〔譜代家督留二〕

町奉行遠山左衛門尉組同心  
權平實子總領

一元高拾五俵町奉行遠山左衛門尉組同心被  
成元同所同人組同心無足見習

渡部錠助

壹人半扶持

外御足高拾五俵  
御足扶持半扶持

都合三拾俵貳人扶持之高被成

右父相果家督書面之御切米御扶持方被下候間、引付直之、向後如父時、以判形手形可被相渡候、但權平勤候内、御足高拾五俵、御足扶持半扶持被下候處、錠助儀、如父時相勤候ニ付、直ニ御足高御足扶持勤候内被下候間、被得其意、家督御切米御足高共來申春之分より、御足扶持者當十二月分より可被相渡候、尤御扶持方渡り候月を考、無相違様可被渡之候事、

弘化四年十二月

〔書替所定書〕當時定法

足扶持渡方

一御足扶持ハ、被仰付候月より渡す、享保八年より、  
御證文ニテ極る、

一御足扶持取來る者相果家督被下、如父時相勤候ニ付、子ニ御足扶持被下候節、御足扶持ハ家督

被仰付候月より渡候、